

2009年12月18日, 東海大學において, 東海大學日本語文學系と奈良女子大学人間文化研究科による合同討論會「移動」の時代と街づくり ~台中・奈良・大連~」が行われた. この研討會では, 現代という時代を人・モノのみならず資本や情報などさまざまなものが移動—その方法・手段・可能性などさまざまな格差をとめないながら—している時代であると捉え, この「移動の時代」という観点から街の変遷, 現在の街づくり, これからの街づくりの可能性を検討した.

討論會前半では, 台中, 奈良, 大連の各地域の事例報告が行われた. 後半の総合討論においては, 台中駅前の商業施設である**第一廣場**を議論の中心に据え, 移動の時代における街づくりの実践の可能性について討論が行われた. 奈良女子大学人間文化研究科の中山徹氏, 姫茹氏による豊富な実践と研究の知識に基づいた示唆に富むプレゼンテーションや, 会場の参加者からの数多くの意見・コメント・助言により, 活発な語らいが行われた. ほんの小さなものではあるが, 街づくりの実践へ向けた最初の一步が踏み出されたと言うことができよう.

**本特集**は, 合同討論會の発表者有志が討論會での意見交換を活かし加筆・修正・執筆した論考, 討論會においてさまざまな示唆を与えてくれた中山氏, 姫茹氏に「移動」「街」「街づくり」をテーマとして依頼した特別寄稿論文, 討論會の統括者として台中の事例に関わってきた本欄筆者による小論, によって構成されている.

諸般の事情により発表者全員の寄稿はかなわなかった. 結果として台中の第一廣場の事例に関する論文が2本, 奈良県生駒市の事例, 奈良県橿原市及び日本各地の街づくり事例に関する論文が各1本, 特別寄稿が2本となった. 当初の計画からみるとやや「こぼり」な特集となってしまったが, 研究を志す者・研究を行う者として, 同時にさまざまな地域社会に所属する**市民**として, それぞれの執筆者たちが研究・報告・実践の融合の可能性を**模索**する姿勢が読者諸氏に伝われば幸いである.

かえていく

たもつ

かある

まもる

うつりかある

つどう

うごく

うつりかわる

つどう

うごく

まもる

かえていく

たもつ

かわる

特集  
2

## 「移動の時代」と 街・人・街づくり

〈台中の事例〉

- ◆ 第一広場の変遷 / 白春燕
- ◆ 公共的空間としての第一廣場へ  
移動の時代・公共性・街づくり / 松永 稔也

〈奈良ほかの事例〉

- ◆ 奈良県生駒市における商店街活性化事業、  
駅前再開発事業について—100円商店街および  
駅前修景ワークショップを事例として— / 大竹 梓
- ◆ 観光と町並み保存  
—伝統建造物群保存地区の事例から— / 海老原 芳

〈特別寄稿〉

- ◆ 三世代におけるモンゴル民族の子どもの頃の  
生活変容に関する研究  
—中国・内モンゴル自治区を事例として— / 婭茹
- ◆ 21世紀型の新たな都市計画を考える  
—人口減少社会を迎えた日本の課題— / 中山 徹